

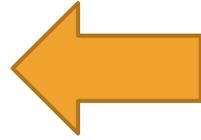
学校全体でのインクルーシブ教育の推進

プロジェクト・アドベンチャー実施による「非認知能力」の育成

戸田市立戸田南小学校



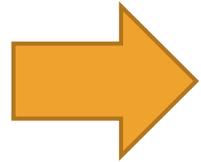
非認知能力の育成



今年度の最上位目標
各校務分掌における共通目標

過去3年間研究を進めてきたインクルーシブ教育の実現と重なる

多様な子供達が誰一人取り残されないための「安全・安心な学級経営の実現」に向けて
これまでに取り組んできたことの1つ



プロジェクトアドベンチャー（以下PA）「チームワークや自尊感情、他者理解などを学ぶための体験プログラム」の実施

人と人との信頼関係の構築に効果絶大 **しかし、外部講師との連携が不可欠**

PAの実施は、脱正解主義、脱自前主義、脱予定調和、脱教師指導、脱3Kの視点に重なる

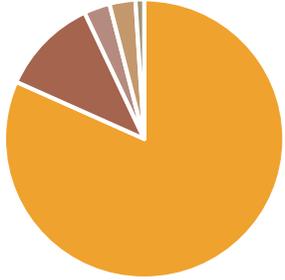
令和5年度に林間学校（国立赤城青少年交流の家）にて5年生123人を対象にAdventure In The Classroom（ファシリテーター派遣型体験プログラム）を実施した。

帰校後、引率教員9名、児童123名を対象に聞き取り調査を行い効果の検証を行った。



効果の検証（児童）

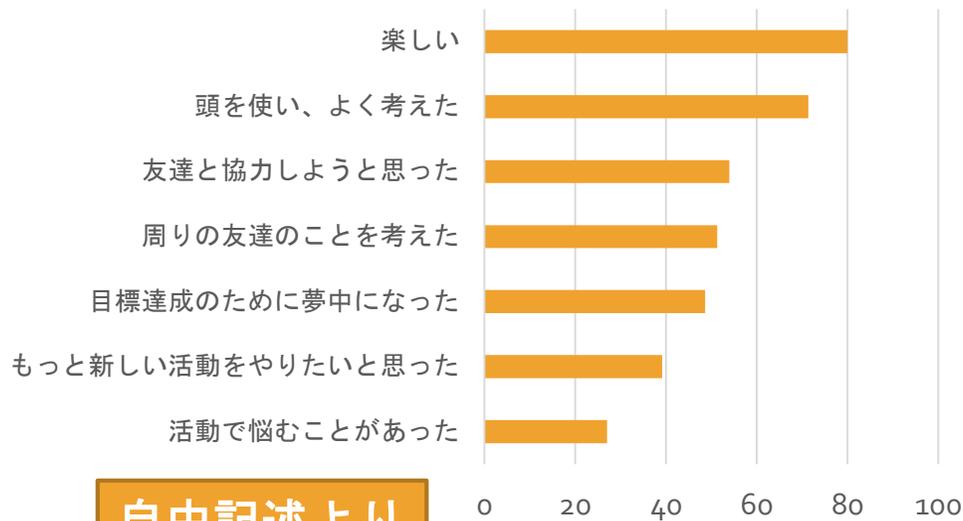
PAに参加してよかったと思いますか



- とてもよかった
- どちらかというよかった
- どちらでもない
- どちらかというよかったと思わない
- 全くよかったと思わない



PAに参加しているときに思ったこと



自由記述より

PAの活動で学んだこと

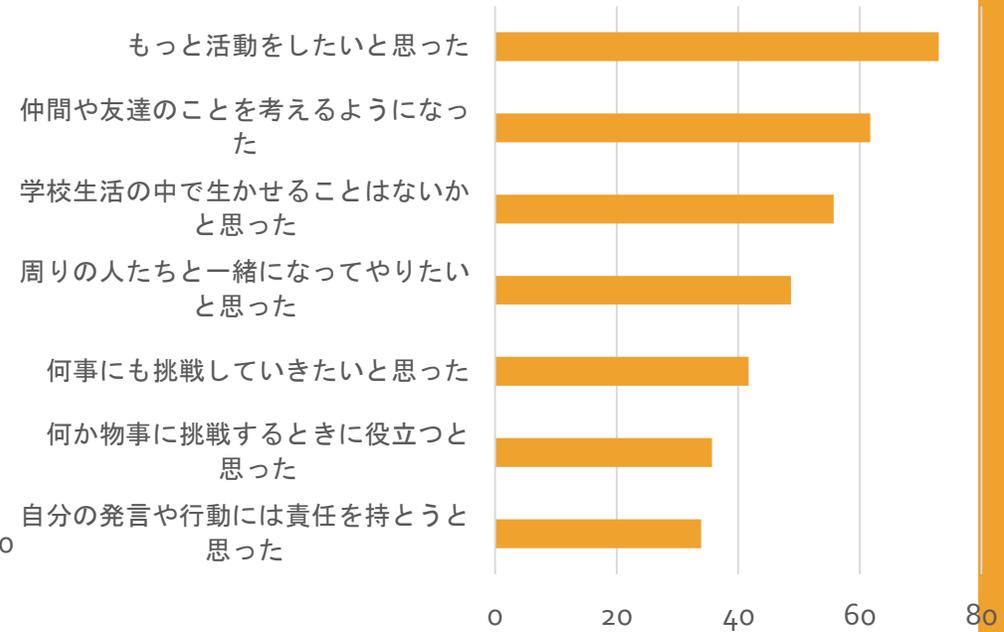
- ・ **みんなで協力すると達成感がある**ことを知った。
- ・ 人それぞれに事情があるから、できない理由を勝手に想像してはいけないということを学んだ。
- ・ **少数派の意見を聞くことも大事**だということを学んだ。
- ・ 挑戦することは、怖いときもあるけれど、やり遂げるととても気持ちがいいということを知った。
- ・ まわりの人と力を合わせないとうまくいかないということを学んだ。
- ・ みんなで失敗したときも声を掛け合うと、**より仲よくなれた**気がした。
- ・ 友達と一緒に協力すると、**さらにできることや可能性が増える**ということを学んだ。

PAの経験を、学校生活や家庭生活でどのように生かしていきたいか

- ・ **自分の言葉に責任を持ち**、一人で責任を負いすぎるのではなくみんなで協力すればよいということを生活に生かしていきたい。
- ・ みんなで協力して何かを成し遂げるときに、PAで感じた達成感を忘れないようにこれからも続けていきたいと思った。
- ・ PAの活動で**素直にみんなの意見を聞いたり、自分の意見を言ったりすることができた**ので、それをこれからの生活に生かしていきたい。
- ・ 人と好きなことや好きなものが違ってても、**違いを面白く思える**ようになりたい。
- ・ 友達の話をよく聞き、高め合っていくことを学んだので、そのことを大切にしていきたい。
- ・ 自分が話していることを友達が誤解しているかもしれないから、意見を言うときは言葉を選んでいこうと思う。



PA参加後、感じたこと



効果の検証（教師）

PAを実施してよかったこと

- ・友達と対話をしながら新たな発見をし、自分のことを知ったり、自分を好きになったりする機会を設けられたことがよかった。
- ・多様性に気づき、認めるためのスタートに立つことができた。
- ・教員にとって、話し方、注目の持っていき方、子供達の様子を見ながらの進め方など指導の技術を学ぶ機会となった。

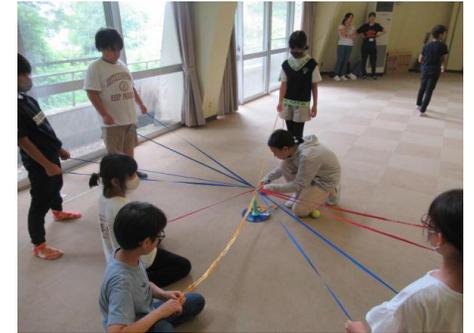
PAを実施した効果

- ・自分と意見が異なる子と建設的な話合いができる。
- ・「誰一人取り残されない民主主義」を体感できる。
- ・対話中心の活動で仲間と一緒にお互いにサポートしながらチャレンジできて、自己肯定感をあげることに繋がった。
- ・与えられた課題を友達と話し合いながら解決していくので、挑戦と失敗を繰り返しながら他者との関わりを学んでいくことができた。
- ・成功することが目的でなく、挑戦することにも価値があると気づく。
- ・担当が少数意見や反対意見を尊重する術を知り、一人一人が認められるクラスづくりがしやすくなる。

児童の変容

- ・気持ちが前向きになった。挑戦してみよう、失敗してもいいからやってみようという気概を感じた。
- ・一つの目標にみんなで向かっていく姿勢が身についた。
- ・自分の考えをはきはき言うようになった。
- ・特別支援級の児童が自分から通常級の友達に声を掛ける姿が見られるようになった。

- ・まず、PAを通して、先生達の子供を見る視点が変わる。アクティビティーのスキルが重要なのではなく、教師のマインドが根底に流れていることを教師自身が体験することによって学ぶことが大切だと思う。子供だけでなく教師の研修もしていきたい。



今回のAdventure In The Classroom（ファシリテーター派遣型体験プログラム）にかかった経費 475,867円（うちクラウドファンディングにより457,000円）

今回行いたいこと

- ①プロジェクトアドベンチャージャパンによるAdventure In The Classroom（ファシリテーター派遣型体験プログラム）を令和6年度の林間学校で実施すること（5年生児童対象）
- ②持続可能性を高めるためのPAの教職員研修の実施

教職員研修実施のための経費

受講費：教員一人につき2,500円（×参加人数）
企画費：10万円
スタッフ交通費：計 約250,000円

今回のクラウドファンディングにより、インクルーシブ教育の推進、「非認知能力の育成」のための手立ての一つとしてPAを実施したい